

備前市事業事業評価シート

事業の概要		事業開始年度 平成17年度		根拠法令・例規等 ｽﾎｰﾂ基本法・備前市ｽﾎｰﾂ推進審議会に関する条例 外	
総合計画	大項目	基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問 担当課(室) 教育委員会生涯学習課スポーツ振興係 合 職・氏名 係長 畑下昌代 先 電 話 63-3813 このシート作成に要した時間 2.0 時間
	中項目	基本計画	02	自分を磨ける・自分を変えられるまち	
	小項目	施策	08	スポーツ・レクリエーション活動の推進	
事務事業名		03 保健体育総務管理事業			

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	①体育協会・スポーツ少年団 ②スポーツ推進審議会・スポーツ推進委員会の各委員 ③競技スポーツで高いレベルを目指し、全国大会へ出場する人		
目的(何のために)	①体育協会・スポーツ少年団の育成・支援することでスポーツ振興を図る。②指導者の育成と資質の向上を図る。③激励会を開催し激励金を交付することにより、全国大会出場者の健闘を讃え、競技スポーツの推進・向上を図る。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	①体育協会・スポーツ少年団を支援することにより、各種スポーツ人口の増加を図る。②指導者の育成、資質の向上によりスポーツ活動の充実・活性化を図る。③全国大会等出場選手を激励・紹介することにより、競技スポーツの人口の増加を図る。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	保健体育総務管理事業	備前市スポーツ少年団・備前市体育協会への補助金交付	◎
	各種委員会	備前市スポーツ推進審議会年2回・スポーツ推進委員会年4回	◎
	体育功労者・全国大会等出場選手激励金	備前市の体育に向上進展に寄与した者を表彰。全国大会国際大会等に出場する選手に激励金を交付	◎

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	10,787	10,749	10,444
	必要人員	人	1.10人	0.68人	0.62人
	費用	千円	20,955	17,243	16,765
財源	国・県支出金				
	受益者負担				
	収入金債				
一般財源			20,955	17,243	16,765
受益者負担比率		%	-	-	-

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	説明		国・県を代表して全国大会国際大会に出場する者に対して激励金を交付する件数		
	結果指標量	件	128	115	86
	対前年比	%	-	89.8%	74.8%
活動コスト		円	0	0	0

事業の成果		平成25年度事業				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
	目標値(A)	120	120	120	120	
	実績値(B)	128	115	86	到達目標値	
全国大会等出場選手激励金交付件数	達成率(B/A)	106.67%	95.83%	71.67%	120	

成果指標設定の考え方・式や説明

指数は全国大会等の出場者を増やすことが目的であるが、実績値は県や国の予選を勝ち抜いて国際大会・全国大会・小中学生の中国大会へ出場する者と、国民体育大会の岡山県選手団で備前市在住者で激励金を交付した件数。

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 市民参画度 <input type="checkbox"/> 目的達成度 <input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い	

進行年度(H26年度)の改革改善内容	
状況	拡充 ○ 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	全国大会・国際大会等に出場することは、スポーツを行う者にとっての目標の一つでもあり、スポーツ振興にも大きく影響があるので、出場者への健闘を讃え激励金交付は継続する必要がある。広報や新聞掲載により広く市民に周知できたので引き続き開催したい。

総合評価		Action	
総合評価	東備西播定住自立圏形成事業の一環で、スポーツ推進委員の意見交換会やニュースポーツの実技研修会を開催し、2市1町の委員同士の交流が活発に行われた。また、今年度からトップアスリートスポーツ教室も行われ、世界で活躍するトップアスリートを招き、2市1町の少年団や指導者の交流や活性化が図れました。体育協会・スポーツ少年団への活動補助金交付は有効に活用されスポーツ振興に役立てよう協議をする必要がある。激励金交付事業も市民にも周知されてきており、競技スポーツ振興においても継続する必要がある。		総合評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
			B

平成27年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 ○ 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	生涯スポーツの振興を図るため、体育協会・スポーツ少年団の支援・指導者の育成を行う。また、青少年健全育成のためにも、スポーツ少年団等の指導者の確保と養成が必要であるため、備前市で養成研修等の開催を行えるよう努めていく必要がある。全国大会等出場選手の激励金交付についても継続する必要がある。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな